

科目名	建築生産 2								年度	2025
英語科目名	Bilding Construction 2								学期	後期
学科・学年	建築学科 2年		必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	井上 英勝		教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築施工管理		
【科目の目的】 ・鉄骨工事において、鉄骨工場での鋼材の加工や工事現場での建て方に関する技術について学ぶ。 ・防水工事において、建物が雨漏りを起こさないための各種の技術について学ぶ。 ・躯体を問わず、各種の仕上げ工事についてその仕組みと施工技術を学ぶ。										
【科目の概要】 教員の経験をもとに、実際の工事現場で行われている作業や管理業務について解説する。また、建築の国家試験に必要なキーワードや基準値などのポイントを押さえて授業を行う。項目ごとに練習問題を行い、不明な点を繰り返し見直して理解したうえで次のステップへ進むこと。										
【到達目標】 A. 鉄骨造の工事内容や管理ポイントが理解できる。 B. 防水工事において、広い面積の防水と、異種部材間のピンポイントでのシーリングが理解できる。 C. 各種内・外装やそれらの下地に関する工事内容や管理ポイントが理解できる。										
【授業の注意点】 身の回りには建築工事現場がたくさんあるので、興味を持って工事を観察し、疑問点があれば授業で質問するように心がけること。また、建築一般構造や建築材料の授業と密接に関連しているので、それらのテキストも適宜参照すること。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力	
到達目標 A	鉄骨増の工事について説明できる。		鉄骨増の工事内容がわかる。		躯体工事の内容はわかるが、基準値や工法の使い分けがわからない。		躯体工事の内容がわからない。		授業に欠席がち、または授業に集中していないので、わからない。	
到達目標 B	防水工事を適材適所で使い分けられる。		防水工事について内容がわかる		防水工事の内容はわかるが、基準値や工法の使い分けがわからない。		防水仕上げはわかるが、下地処理がわからない。		授業に欠席がち、または授業に集中していないので、わからない。	
到達目標 C	仕上げ及びその下地に関する工事を説明できる。		仕上げおよびその下地に関する工事がわかる。		仕上げに関する工事はわかるが、下地がわからない。		内装仕上げまたは外装仕上げはわかるが、それ以外がわからない。		授業に欠席がち、または授業に集中していないので、わからない。	
【教科書】 初学者の建築講座建築施工、ビジュアルハンドブック 必携建築資料										
【参考資料】 必要時、配布する。										
【成績の評価方法・評価基準】 項目ごとに行う練習問題と授業への取り組み状況を40％、期末試験の評価を60％として評価する。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

